

製品名: ミオフェリンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86295**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:100-1:200, FC 1:200-1:500
分子量	Calculated MW:235 kDa; Observed MW:250 kDa

抗原情報

遺伝子名	Myoferlin
別名	FER1L3
遺伝子ID	26509
SwissProt ID	Q9NZM1
免疫原	ヒトミオフェリンの合成ペプチド

背景

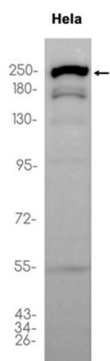
細胞膜タンパク質であるジスフェリンの変異は、近位筋と遠位筋の両方に影響を及ぼす筋力低下を引き起こす可能性があります。こ

の遺伝子によってコードされるタンパク質は、ジスフェリンと構造的に類似した II 型膜タンパク質です。ジスフェリンファミリーに属し、細胞膜と核膜の両方に存在します。このタンパク質は、カルシウムを介した膜融合に関与する C2 ドメインを含むことから、膜の再生と修復に関与している可能性が示唆されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つかっています。他にも可能性のあるバリエーションが検出されていますが、その全長は未だ解明されていません。[RefSeq 提供、2008 年 12 月]

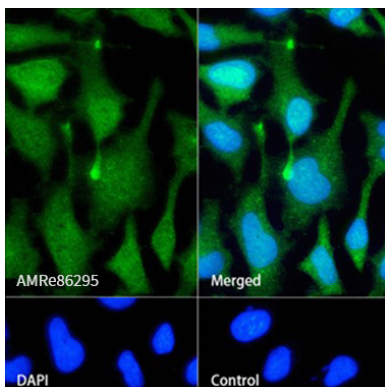
研究分野

-

画像データ



Myoferlin ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。



AMRe86295 で Myoferlin を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。